

2 施工状況

・ 施工管理

[監督員]

不要 YES NO

			施工計画書、施工体制台帳、施工体系図が現場と一致している。(*注)
			適切な位置に測量票、仮BMを設置し、監督員に報告している。
			品質確保のための対策が見られる。(養生・養生期間・保護シート等)
			主任(監理)技術者による日常の出来形管理や品質管理が適時行われていることが確認できる。(*注)
			施工期間の間、降雨等による現場災害の防止に心掛けている。(*注)
			現場内での整理整頓が日常的になされている。
			工事関連各種書類(品質証明書、管理写真、管理表、試験結果表など)がよく整理されている。
			現場での自主的なイメージアップに積極的に取り組んでいる。(*注)
			建設廃棄物処理が改善指導等なく適切に行われた。(*注)
			段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。(*注)
			施工手順や施工状況が工事写真でよくわかる。

YES/(YES+NO)= _____ = _____ % 判定 _____

(項目が少ない場合は特例分数を使用して下さい。)

- 該当項目が80%以上・・・b
- 該当項目が65～80%未満・・・c
- 該当項目が65%未満・・・d
- 施工管理に対して重大な不備があった・・・e

3 出来形及び出来ばえ

・ 出来形

[監督員]

不要 YES NO

			改善修正の必要がない適正な出来形管理表(管理図含む)が提出された。(*注)
			出来形寸法において設計値と実測値にほとんど差異がない。
			全体的に設計値に対する出来形寸法のばらつきが少ない。(*注)
			出来形測定において、各種不可視部の出来形が写真で十分確認できる。(*注)
			出来形測定において、各種主要部・重要部の出来形が写真で十分確認できる。(*注)
			精度のよい出来形展開図が作成されており、出来形確認がしやすい。(*注)

YES/(YES+NO)= _____ = _____ % 判定 _____

(項目が少ない場合は特例分数を使用して下さい。)

- 該当項目が90%以上・・・a
- 該当項目が80～90%未満・・・b
- 該当項目が65～80%未満・・・c
- 該当項目が65%未満・・・d
- 一部の構造物に許容値不満足や出来形不足があり手直しを指示した。(軽微なものは除く)・・・d
- 出来形に関して重大な不備があり、その対策等で発注者側が多大な労を費やした。・・・e

・ 品質

[監督員]

不要 YES NO

			材料承認時に製品や構造物の品質を示す各種の資料が提出されている。
			使用された製品が承認された製品と同一で良質である。
			各種構造物の品質が一様に良好である。(*注)
			品質や性能確保のための管理資料が充実しており、その内容が確認できる。
			品質管理基準に基づく必須の品質管理項目(試験)をもれなく実施している。(*注)
			上記品質管理項目(試験)の試験箇所数等の実施頻度が適正である。
			指定機関の各種試験成績証がもれなくある。(*注)

YES/(YES+NO)= _____ = _____ % 判定 _____

(項目が少ない場合は特例分数を使用して下さい。)

- 該当項目が90%以上・・・a
- 該当項目が80～90%未満・・・b
- 該当項目が65～80%未満・・・c
- 該当項目が65%未満・・・d
- 品質基準(強度等)を満たしていないことが判明し手直しを指示した。(軽微なものは除く)・・・d
- 品質に関して重大な不備があり、その対策等で発注者側が多大な労を費やした。・・・e

様式第7号 **採点項目表〔完成・一部完成〕主任監督員**

起工番号

号

該当項目の に数字「1」を入力する。(手書きでも可)

2 施工状況

・ 工程管理

【主任監督員(係長)】

不要 YES NO

工程表(ネットワーク)の内容が検討され充実している。(*注)
 工期や工程について発注者の指示や要求に十分対応した。
 日々の作業工程及び作業時間が、発注者、関連業者、地域住民に対して迷惑掛ける事無く、無理なく行われた。
 工期末にばたつくことなく終始一定の施工ペースで完成させた。
 当初工期内に完成した。(業者に責のない工期延期をした中での完成は「不要」)(*注)

YES/(YES+NO)= _____ = _____ % 判定 _____

(項目が少ない場合は特例分数を使用して下さい。)

- 該当項目が90%以上(選択項目が5)・・・a
- 該当項目が80~90%未満・・・b
- 該当項目が65~80%未満・・・c
- 該当項目が65%未満・・・d
- 自主的な工程管理がなされず文書改善指示や嚴重注意を行った。・・・d(*注)
- 工程管理に関して重大な不備があった。・・・e(*注)

・ 安全対策

【主任監督員(係長)】

不要 YES NO

警察の道路使用許可条件と現場が合致しており、改善の必要がなかった。
 歩行者や通行車両に対する保安施設(立ち入り防護柵含む)を自主的かつ迅速に設置した。
 保安施設の日常の点検整備がよくなされている。(*注)
 夜間や不稼働日などの安全対策を写真等で報告している。(*注)
 各種安全パトロールや通常の工事監督業務等において、安全対策に対する指摘を受けたことがない。
 指摘を受けた場合、その事項について速やかに改善し報告した。(指摘がない場合は「不要」)
 現場監督が作業中の作業員の安全に配慮しているのが確認できた。
 事故発生時の対応フローや連絡先等を現場に自主的に掲示している。
 注意指導せずとも現場監督や作業員が過積載に注意をはらっている。
 異常気象時等の緊急時に現場内外に対する安全対策が十分とられている。(緊急時なしは「不要」)
 使用機械器具、車両等が現場でよく保管・管理されている。
 通学路等特に注意を必要とする現場では誘導員等を自主的に配置し安全対策を実施した。(*注)

YES/(YES+NO)= _____ = _____ % 判定 _____

(項目が少ない場合は特例分数を使用して下さい。)

- 該当項目が90%以上(選択項目が5以上)・・・a
- 該当項目が80~90%未満・・・b
- 該当項目が65~80%未満・・・c
- 該当項目が65%未満・・・d
- 安全対策に対して不備があり、重大な事故や災害につながる恐れがあった。・・・d(*注)
- 安全対策に対して不備があり、重大な事故や災害があった。・・・e

・ 対外関係

【主任監督員(係長)】

不要 YES NO

工事施工にあたり関係官公庁等の関係機関と調整協力した。
 工事施工に対し第三者からの苦情が無かった。
 苦情があった場合、苦情に対して的確に対応し良好な対外関係であった。(苦情なしは「不要」)
 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与した。(関連なしは「不要」)
 道路、河川、地下水など周囲の環境を汚さないよう配慮して施工した。

YES/(YES+NO)= _____ = _____ % 判定 _____

(項目が少ない場合は特例分数を使用して下さい。)

- 該当項目が90%以上・・・a
- 該当項目が80~90%未満・・・b
- 該当項目が65~80%未満・・・c
- 該当項目が65%未満・・・d
- 対外関係に関し、業者の責により重大な支障が生じた・・・e

高度技術とは、工事全体を通して他の類似工事に比べ特異な技術力を要する必要があった技術を評価するものであり、評価にあたっては担当課長との合議とする。その概要を所見欄に記入すること。
 なお、「6. 創意工夫」との二重評価はしない。

該当なし。

施工規模の大きさへの対応

対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模

構造物の固有の難しさへの対応

対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む)

既設構造物の補強、撤去等特殊な工事

技術固有の難しさへの対応

工種および工法の特異性

新工法(機器類を含む)及び新材料の適用

厳しい自然・地盤条件への対応

湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時等)

軟弱地盤、支持地盤の状況

河川内・海域・急峻な地盤条件下及び工事用道路・作業スペース等の制約

地滑り等の地質条件、急流河川での水流、海域での波浪・潮流等の影響、動植物等に対する配慮等

厳しい周辺環境等、社会条件への対応

地中埋設物等の地中内の作業障害物

工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物

周辺住民等に対する騒音・振動の配慮

周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮

生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約・路面覆工下・高架下等の作業スペースの制約

現道上で、特別な交通規制及びその処理が伴う作業

騒音・振動・水質以外の環境対策、廃棄物処理等

施工現場での対応

災害等での臨機の処置

施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等

その他

その他(_____)

評 点： 点

上記該当項目1件につき+2点を与え、その合計を評点とする。ただし+13点を限度とする。
 各項目の具体的な工事事例は次ページを参照すること。

施工方法、品質管理、安全対策、施工管理、などにおいて、よい提案に基づき実施した事項を記入すること。
 なお、提案1件につき1点とする。その概要を所見欄に記入すること。
 また、必要に応じて請負者から実施状況を提出させ、提出があった場合はこれも考慮すること。

該当なしの場合は、左端の に数字の「1」を記入すること。

該当なし。

【施工方法】

- 施工に伴う機械器具・工具・装置類の工夫、又は設備の運転調整等の工夫。
 コンクリート二次製品の利用等代替材の適用と工夫。
 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の工夫。
 仮排水、仮設道路、迂回路等の計画施工の工夫。 仮設道路
 支保工、型枠工、足場工、栈橋工、山留工等の仮設工関係の工夫。

【品質管理】

- 集計ソフト等の活用と工夫。
 鉄筋、PCケーブル、CO二次製品等の使用材料の工夫。
 配筋、溶接作業等に関する工夫。

【安全対策】

- 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落、転落、挟まれ、立ち入り禁止、手すり、看板等）
 安全教育、技術向上、案全パト 安全パト、等に関する工夫。
 現場事務所、労務者宿舍等の、居住空間や設備等の工夫。
 供用中道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策、一般交通確保等のための工夫

【施工管理】

- 施工計画書、写真管理等の工夫
 出来型、品質との計測関係等の工夫、及び集計管理図等の工夫。
 CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用の工夫

【その他】

- ()
 ()

評点



採点項目表（完成・一部完成）総括監督員

起工番号

号

該当項目の に数字「1」を入力する。（手書きでも可）

2 施工状況

・工程管理（*注）

[総括監督員（課長）]

不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

当初工期を厳守し工事を完成させた。
 工期的制約がある場合において指示工期内（標準工期の90%以下）に工事を完成させた。
 隣接する他の工事との積極的な工程調整を行った。
 地元調整を積極的に行い、業者の責によるトラブルもなく完成させた。
 工期や工程に関して、発注者側の手を煩わすことがなかった。
 係長の工程管理評価が「a」か「b」である。
 入札前の配置予定技術者が契約時に配置されている。（正当な理由なく変更した場合はNO、他は不要）
 監理技術者が常時在駐している。（毎月の巡回で確認）

YES-NO= 判定

- YES-NO= + 5 以上・・・a
- YES-NO= + 3 ~ + 4・・・b
- YES-NO= 0 ~ + 2・・・c
- YES-NO= - 2 ~ - 1・・・d
- YES-NO= - 3 以下・・・e
- 工程管理に重大な不備があった。・・・e

・安全対策（*注）

[総括監督員（課長）]

不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

安全衛生管理体制を確立し、その活動も活発で模範的である。
 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。
 現場内外の安全対策を積極的に行い、事故防止に真剣に取り組んだ。
 注意指導事項を真剣に受け止め、それに対して迅速かつ適切に対処した。
 工事期間中は小さな事故等のトラブルも無かった。
 施工により、埋設物や家屋等の第三者の財産に損害を与えなかった。
 係長の安全管理評価が「a」か「b」である。（*注）

ここでいうNOとは、上記項目を配慮することなく問題が発生した場合のことである。
 対応が普通の場合や該当が無い場合は「不要」にチェックすること。

YES-NO= 判定

- YES-NO= + 5 以上・・・a
- YES-NO= + 3 ~ + 4・・・b
- YES-NO= 0 ~ + 2・・・c
- YES-NO= - 2 ~ - 1・・・d
- YES-NO= - 3 以下・・・e
- 現場の事故（大小問わず）を報告せず、後日それが発覚した。（事故隠し）・・・e
- 安全対策に対して不備があり、重大な事故や災害があった。・・・e

6 社会性（*注）

・地域への貢献等

[総括監督員（課長）]

《各種事例》

- 付近の地域清掃や草刈り等の環境・景観対策
- 工期中の災害等の緊急な復旧工事、救援活動、防災活動
- 現場紹介広報紙、現場見学会、各種表彰
- 地域住民の要望に対する自主的な対応
- その他（ ）

上記の該当があれば次の a か b を選ぶこと。なければ c を選ぶこと。その概要を所見欄に記入すること。

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

- a 良く貢献した
- b 多少貢献した
- c 特になし

判定

措置内容	判定	点数
1. 指名停止3ヶ月以上		- 20点
2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満		- 15点
3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満		- 13点
4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満		- 10点
5. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、軽微なため処分がなかった場合		- 3点
6. 項目該当なし		0点

本評価項目(8.法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。

「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。

「工事関係者」とは を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。

概要を所見欄に記入すること。

<<参考>> 【上記で評価する場合の適応事例】

1. 入札前に提示した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。
2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承諾を行った。
3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。
4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。
6. 建設業法に違反する事実が判明した。例)一括下請け、技術者の専任違反等。
7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。
8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
9. 監督または検査の実施にあたり、職務の遂行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。
10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請け代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。
11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。
13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
14. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした
15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。

本評価項目で評価する事例は「当工事の施工にあたり、工事関係者が事故または法令違反等で下記の措置があった場合」に適用する。

採点項目表（完成・一部完成）検査員等

起工番号

号

該当項目の に数字「1」を入力（記入）する。
（*印をつけた項目は主に現場検査時に確認できるもの）

2 施工状況

・ 施工管理

[検査員]

不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 着手届・工程表及び技術者届の技術者証明が提出されており確認できる。下請届が提出されている。
- 該当工種の段階確認が実施されている。
- 鮮明でよく整理された工事写真が提出されている。
- 建設廃棄物の適正処理が写真やマニフェストで十分確認できる。
- * 現場代理人及び主任（監理）技術者が検査中に腕章を着用している。
- * 現場監督及び立会作業員が全員ヘルメットを着用している。
- * 水準点（ベンチマーク）を設置しており管理写真がある。
- * 検査時に測定人員・測定器具・検査足場等の準備が十分なされている。
- * 道路等危険箇所の検査時にガードマンを配置し安全対策を行っている。
- * 現場監督はじめ測定人員がきびきびと無駄なく対応し受検姿勢がよい。

YES/(YES+NO)= % 判定 0 / 0

- 該当項目が90%以上・・・ a
- 該当項目が80～90%未満・・・ b
- 該当項目が65～80%未満・・・ c
- 該当項目が65%未満・・・ d
- * 主任（監理）技術者がよく現場を把握していない。・・・ d
- * 下請契約報告書と実態が一致していない。・・・ d
- * 検査時に主任技術者が不在であった。・・・ d
- * 検査時に現場代理人もしくは請負者（乙）が不在であった。・・・ d
- * 検査に対する受験態度が悪い。・・・ e
- * 検査時に現場代理人もしくは請負者（乙）と主任技術者が共に不在であった。・・・ e または「再検査」

3 出来形品質及び出来ばえ

[検査員]

不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 出来形管理表（管理図含む）が適切にまとめられており、充実している。
 - 出来形管理表において重要部や主要部の測定箇所等の不備不足がない。
 - 重要部や主要部の出来形管理写真に不備不足がなく十分確認できる。
 - 不可視部の出来形管理写真に不備不足がなく十分確認できる。
 - 構造物の立ち上り高が取り上げ寸法（墨上げ）写真等で十分確認できる。
 - 各工程ごとの全景写真を撮影し添付している。
 - 業者作成の精度のよい出来形展開図が作成されており出来形確認がしやすい。
 - * 現場において測点No等が表示してあり、延長等の出来形測定がしやすい。
 - * 現場において測定線（ペンキマーク等）が入れてあり、展開図の出来形測定がしやすい。
 - * 出来形管理表の記載数値と現場実測数値が合致しており、よく測定管理している。
- （応急仮工事等の緊急工事の場合は精度の高い出来形管理は困難なので上記の各判定については配慮してよい。）

YES/(YES+NO)= % 判定 0 / 0

- 該当項目が90%以上・・・ a
- 該当項目が80～90%未満・・・ b
- 該当項目が65～80%未満・・・ c
- 該当項目が65%未満・・・ d
- 重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・ d
- * 出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・ d
- * 手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・ d
- * 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。・・・ d（手直し指示書）
- * 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。・・・ e（手直し指示書+再検査）

共通
不要 YES NO

品質や性能確保のための管理資料が充実しており、内容が確認できる。
指定機関の各種試験成績証がもれなくある。
* 遮水すべきところでの漏水がない。

土工
不要 YES NO

施工状況が写真でよく確認できる。
床堀が良好であるのが確認できる。
不陸整正・基面整正の施工が良好であるのが確認できる。
敷均し締固めが適切に行われているのが確認できる。
掘削法面の土質状況が写真等でよく確認できる。
土羽等の丁張りのピッチ等適正に設置しているのが写真で確認できる。
段切りが必要な箇所については適切に実施しているのが確認できる。
必須の各種土質試験をもれなく行っている。
施工中や完了時に雨水等による崩壊防止のためにシートや仮排水等の対策を講じている。
* 土羽の施工が良好で仕上げが良い。
* 法面地盤に施工の不備等によるたるみやクラックがない。
* 計画土工線と著しい差がない。

(浚渫工は出来形のみ評価し、品質の評価はC評価とする。)

現場打コンクリート構造物
不要 YES NO

コンクリート打設が施工状況写真により適切に行われたことが確認できる。
コンクリート打設後の養生が適切に行われたことが確認できる。
鉄筋の加工・組立が適切に行われているのが確認できる。
スペーサー等により、鉄筋のかぶりの確保が写真で確認できる。
Pコン(木コン)が前面背面とも適正な材料が使用されており表面処理も適切である。
鉄筋の圧接がある場合、引っ張りや曲げ強度試験値が確認できる。
* 0.2mm以上のクラックがない。(0.2mm未満のクラックは出来ばえに反映させる。)
* 上記クラックがある場合、その補修を実施しているか、補修方法を発注者側と検討している。
* 業者の責と判断される進行性あるいは有害なクラックがない。(ある場合は補修や手直し必要)

石・ブロック積(張)
不要 YES NO

基礎コンクリート(基礎ブロック)が良質で適正に施工されているのが確認できる。
胴込・裏込コンクリートが適正に施工されているのが確認できる。
裏込コンクリートの厚さ等の寸法が十分確認できる。
裏込材が適正に施工されているのが確認できる。
裏込材の厚さ等の寸法が十分確認できる。
吸い出し防止シートの敷設が適正なのが写真等で確認できる。
水抜き管に吸い出し防止等を取り付けているのが写真等で確認できる。
* 指示した箇所のB試験が全て1回でOKである。(やり直し跡がない)
* ブロック(石)のかみ合わせや目地等の施工が良好である。
* ブロック(石)面の勾配がきちんと保たれている。
* 張ブロック(石)が基礎地盤に密着しているのが打音検査等で確認できる。

かご工
不要 YES NO

施工基面の施工が良好であるのが確認できる。
* 止め杭の施工が十分である。
* 中詰石の径が適正である。
* 中詰石の密度が十分である。(不純な物が混入していない。)
* 籠材が所定の規格を満足している。
* 中詰後の籠材そのものが変形していない。
* 鉄線や連結材等の突起や表面を危険のないように処理している。
吸出し防止シートの敷設が適正なのが、写真等で確認できる。(背面が砂質土等の場合)

張芝・筋芝工
不要 YES NO

* 使用材料が良質で仕上げも良好である。
* 目串や止金具の本数が十分で押さえがしっかりしている。

種子・客土・厚層基材・コンクリート・モルタル吹付工・現場吹付法枠工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法面清掃の実施が確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土壌の硬度試験やPH試験を実施し、施工に反映されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網やネット張が法面の凹凸に十分対応し、間隔が適切に確保されているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アンカーピンの施工本数やピッチが適正であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網やネット張で10cm以上の重ね幅が確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水抜き管の施工が良好であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹き付け材料の強度確認試験を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2層吹付けが必要な場合、厳正に実施しているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法枠組立の施工が良好であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 吹付け厚さが均等であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* はく離やクラックがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* はく離やクラックがあった場合、補修を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 跳ね返り材料が適切に処理されている。

(プレキャスト法枠工は「石・ブロック積(張)」等の該当項目を組み合わせ適用する。)

コンクリート2次製品(側溝・擁壁・根固ブロック等、ただし橋桁は除く)
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設置基面が良好であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎材や敷モルタル材が良質で施工が良好であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	均しコンクリートが良質で適正に施工しているのが写真で確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	製品設置後の埋め戻し前の状況が写真で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 製品どうしの接合や噛み合わせが適切である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 製品の設置に関して不必要な段差・ぶれ・折れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 目地や間詰材の施工が良好である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 製品自体に気泡・クラック・傷・欠損等がほとんどない。

基礎(杭)工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭に損傷及び補修痕がないのが確認できる。(十分な製品外観写真がある。)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭の打止め管理あるいは場所打ち杭の施工管理記録がよく整備されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭の水平度、鉛直度を厳密に測定しているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭溶接がある場合溶接に関して、定められた品質管理を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	場所打杭のコンクリート打設について、適度なトレミー管挿入で施工している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	場所打杭のコンクリート強度が十分であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動および安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度と比重が適切に管理されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	注入材料の圧力や量が施工記録により確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工位置(杭頭)の位置(座標)が許容範囲内であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭頭処理が適切に施工されている。

深礎工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全性など適正な掘削状況であることが写真で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土留材(ライナープレート等)が良質で適正に施工されているのが確認できる。

アンカー工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アンカーの施工長さが確認できる十分な資料(写真)がある。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必要な引張試験を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	充填材の注入が適正に行われているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* アンカーキャップや止圧板等の施工が良好である。

地盤改良・安定処理工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良材が良質であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良の深さや範囲が施工状況写真や施工記録等で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良材の使用量が番号付き袋の投入写真で全量確認できる。(空袋管理のみは不十分)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良材の巻き出し厚の管理を十分行っているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 十分な改良効果があることが試験結果や目視で確認できる。

地中連続壁工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良柱の深さや位置が施工状況写真や施工記録等で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配合試験を実施し、強度確認資料がある。

補強土壁工・ジオテキスタイル工

不要 YES NO

敷均し締固めの状況が適正で施工幅等が写真等で十分確認できる。
補強材等の設置状況が適正で各段の長さや本数（枚数）等が写真等で十分確認できる。
* 壁面材が適正に施工されている。

構造物取壊工

不要 YES NO

各種取り壊しが丁寧に施工されているのが写真で確認できる。（舗装版破碎含む）
廃材の積み込み状況や処理場搬出などが適正に実施されているのが写真で確認できる。

河川・海岸工

不要 YES NO

施工基面が平滑に仕上げられているのが写真等で確認できる。
捨石基礎の均し面が平坦に仕上げられているのが写真等で確認できる。
裏込材や胴込コンクリートの充填または締固が適切に実施されている。
遮水シートの適正な施工が確認できる。
木杭が適正に施工されているのが確認できる。
水制工の施工が適正であるのが確認できる。
* 土のう（大型含む）の施工（積み上げや止め杭等）が適正であるのが確認できる。
* 使用製品のかみ合わせや連結が適切で裏込材等の吸い出しの恐れがない。
* 使用石材の形状や径が適切である。

（防波堤等の港湾用コンクリート構造物は「現場打コンクリート構造物」に準ずる。）
（石積・ブロック積（張）は「石・ブロック積（張）」に準ずる。）

消波ブロック製作工

不要 YES NO

製品に気泡等の跡があまり目立たない。
製品にクラックがほとんどない。
製品に傷や欠損がほとんどない。

応急仮工事

（応急仮工事は施工の迅速性と安全性が特に重要であり、工種も多岐にわたるので品質項目については各工種から該当項目を抽出し対応するか「その他」の追加項目等を利用するものとするが、品質については最低限のものが確保されていればYES評価するものとする。）

本設矢板工

不要 YES NO

使用材料の規格（厚・幅・長等）が写真等で十分確認できる。
* 矢板の傾きや通りのぶれがないのが確認できる。
* 矢板の天端高のばらつきがない。
* 矢板の噛み合わせが良い。
* アンカー、控え索が適切に施工されている。

（コンクリート矢板は「コンクリート2次製品」の該当項目を組み合わせて適用する。）

仮締切工・仮設矢板工・仮設防護柵工

不要 YES NO

各種仮設材の材料検収がもれなく行われている。
各段の切梁・腹起設置後に床堀が行われたのが段階確認写真等で確認できる。
* 矢板打設後の矢板の傾きや通りのぶれがない。
* 矢板打設後の矢板の天端高のばらつきがない。（転石や岩がある場合は除外）
* 矢板のたわみがない。
* 矢板の噛み合わせがよい。
* 切梁・腹起等が設計図に忠実でかつ適正に施工している。
* H鋼杭の立て込みが良好である。
* 横矢板の噛み合わせ等の施工が良好である。

仮橋工

不要 YES NO

使用材料（鋼材等）の規格（厚・幅・長等）が写真等で十分確認できる。
施工状況が適正なのが写真等で十分確認できる。
リース材等の日頃の管理を実施していることが写真や日報で確認できる。
* 杭・桁・覆工板等の設置が設計図に忠実でかつ適切に施工している。
* 杭・桁・覆工板等の材料が良質である。

水門・井堰・排水機場

不要 YES NO

--	--	--

* 漏水等がなく、水密性が十分なのが確認できる。
（その他「現場打コンクリート構造物」「鋼構造物」「塗装工」「機械電気設備」等の該当項目に準ずる。）

鋼構造物（鋼橋含む）

不要 YES NO

鋼材の員数照合がミルシート等で確認されている。
 溶接作業員の資格証を確認できる。
 ボルトの締め付け確認が適正に実施され、その記録が管理されている。
 支承据付が適切に実施されているのが確認できる。
 * 溶接に不十分な箇所がなく適正に行われている。
 * ボルトの締め付けが適正である。
 * 使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で十分確認できる。

塗装工

不要 YES NO

塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。
 ケレンが入念に実施されていることが確認できる。
 施工時の天候、気温、湿度等の条件が整理・記録されている。
 塗料の施工前攪拌を実施し、よい状態で施工したことが確認できる。
 塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で確実に確認できる。
 塗膜厚の確認を実施し、記録されている。
 * 塗膜に付着物が無い。
 * 膜厚測定器により塗膜厚を確認できた。（膜厚不足は手直し指示）

砂防・地すべり

不要 YES NO

地山との取り合わせが適切に行われている。
 各ブロックの施工基面（打ち継ぎ面）が適正に仕上げられているのが確認できる。
 ひずみ計の精度試験を実施している。
 ライナープレートの適切な施工を実施しているのが確認できる。
 集排水ボーリングの方向や角度に配慮し、施工を実施している。
 集排水パイプの施工が適正で挿入長等が十分確認できる。
 （砂防堰堤等は「現場打コンクリート構造物」に準ずる。）
 （鋼製のスリットダム等は「鋼構造物」に準ずる。）

公園施設

不要 YES NO

* 遊技施設の設置箇所及び周辺は、水はけよく整地され転圧も十分である。
 * 遊技施設組立のボルト、ナット、ロープ等は安全性が十分確保されている。

植栽工

不要 YES NO

土壌試験（PH）を実施している。
 活着管理が適切に行われている。
 肥料の分散、均一性を考慮し施肥されているのが確認できる。
 障害物や有害物等の除去を実施しているのが確認できる。
 * 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切に行われているのが確認できる。
 * 余剰枝の剪定、整形等必要な手入れが行われているのが確認できる。
 * 高木植栽において支柱が堅固に取り付けられている。

機械・電気設備（堰、水門、ポンプ等）

不要 YES NO

品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分実施されていることが確認できる。
 材料・部品・機器の品質や性能がミルシート、カタログおよび品質証明書等（現場照合を含む）で確認できる。
 溶接および溶接管理が適切に実施されているのが確認できる。
 塗装および塗装管理が適切に実施されているのが確認できる。
 * 材料・部品・機器そのものが良質強固であるのが判断できる。
 * 操作制御等の実動の機能確認ができる。
 * 製品の機能、性能に問題がない。
 * 操作説明板等が準備されている。
 * 実動のための安全面での配慮がなされている。

下水道工事
不要 YES NO

掘削時の土留め方法や推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響がみられない。
 人孔において、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されている。
 * インパートは形状、勾配、表面仕上げ等が適正で漏水がない。
 * 埋戻において、締固めが適切な方法で施工されており、沈下が見られない。
 * 管渠（管布設・矩形渠布設、推進）工において、目立った屈曲や沈下がない。
 * 管渠、人孔においてシール材・滑材・接着剤等のはみ出し等がない。
 * 管渠、人孔において漏水箇所がない。
 * 管渠継ぎ手部及び人孔連結部の目地仕上げが良好である。
 * 管渠に影響を与えるクラックや変形がない。（ある場合は、補修や手直しが必要）
 * 人孔の足掛金物の位置、方向が適切であり、鉄蓋設置においてガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。
 * 人孔蓋の天端は周辺地盤になじんでおり、周辺の復旧仕上がりが良い。
 * 推進管の裏込め材料が十分充填されている。

下水道工事（シールド工のみ）
不要 YES NO

コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行なっている。
 日々計測管理を行なっており、それに基づいた施工が行なわれていることが確認できる。
 * 2次覆工において漏水がない。
 * 裏込め注入を適切に行なっている。
 * クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生クラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行なっている。
 * セグメントの継手が適切に施工され漏水がない。
 その他（)

薬液注入工
不要 YES NO

使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書が提出されている。
 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で監督員の立会を行なっている。
 削孔深さ、注入長の確認が出来る。（監督員立会）
 注入量、圧力等が確認できるよう適正な施工管理を行なっている。
 注入効果の確認を行なっている。
 観測孔及び水質等の管理が適切に行なわれている。

機械・電気設備工事(下水道施設のみ)
不要 YES NO

機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
 製造者による試験が的確に行なわれ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
 施工完了時の試験及び記録が適切である。
 品質計画による品質管理記録が整備されている。
 不可視部分の写真記録が適切である。
 * 機能の適切性が確認できる。試運転等の記録が整備されている。
 * 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。

電気通信
不要 YES NO

仕様書等で定められた品質管理が実施されているのが確認できる。
 単体品の必要な証明書類が整備されている。
 * 単体品（材料・部品組立後）が設計図書等と整合している。
 * 設備が設計図書等と整合しており、機能を満足している。
 * 設備の運転性能がよく、所定の能力が確認できる。

ダム

不要 YES NO

--	--	--

ダム毎に定められた特記仕様書で規定されている品質管理が実施されている。
 コンクリート打設時の管理図・結果表により、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
 (コンクリート式ダム)

--	--	--

盛立工施工時の管理図・結果表により、単位体積重量・含水比・透水計数等が確認できる。
 (フィルタイプダム)

--	--	--

日々の計測管理を実施していることが確認できる。
 (その他、ダム関連付属構造物は各工種の該当項目による)

トンネル

不要 YES NO

--	--	--

使用コンクリートの規格や品質(強度・最大骨材・スランプ値・空気量・塩化物量・アルカリ骨材等)が資料により十分確認できる。

--	--	--

コンクリート打設時の供試体を採取しているのが確認できる。

--	--	--

日々の計測管理を実施していることが確認できる。

--	--	--

金網の重ね幅が15cm以上あることが確認できる。

--	--	--

コンクリート吹付けは浮石等を除き、15cm以下の厚さで地山密着が十分確認できる。

--	--	--

ロックボルト挿入前にくり粉除去等の清掃状況が確認できる。

--	--	--

*吹付けコンクリートの打継ぎ部の処理が適切に施工されていることが確認できる。

--	--	--

*逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの継ぎ目が同一線上にないことが確認できる。

建築工事(新築・改築)

不要 YES NO

--	--	--

品質管理の方法が明確で品質確保に創意工夫がある。

--	--	--

施工計画書に定められた品質計画により管理されている。

--	--	--

材料の品質証明が適切である。

--	--	--

請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。

--	--	--

施工の品質・形状が適切で良好な施工である。

--	--	--

不可視部分の写真記録が適切である。

各種製品設置工

不要 YES NO

--	--	--

施工状況が適正であることが写真等で十分確認できる。

--	--	--

*製品が設計図面と合致しており良質である。

--	--	--

*製品が製品仕様書等で定められたものと合致しており良質である。

--	--	--

*設置状況が適正である。

その他の品質項目(追加項目や特筆項目など)

不要 YES NO

--	--	--

記入 _____

--	--	--

記入 _____

--	--	--

記入 _____

YES/(YES+NO)=

= %

判定

 上記該当項目が90%以上・・・a 上記該当項目が特例分数(2/2),(3/3),(4/4)あるいは80~90%・・・b 上記該当項目が特例分数(0/0),(1/1),(1/2)あるいは65~80%・・・c 上記該当項目が特例分数(0/1),(0/2),(1/3)あるいは50~65%・・・d 品質基準値を満足しておらず軽微な手直しを指示した。(手直し指示書)・・・d 上記該当項目が50%未満・・・e 品質基準値を満足しておらず重大な手直しを指示した。(手直し指示書+再検査)・・・e

チェック項目が少数の場合の特例

品質評価においてYES/(YES+NO)が次の分数の場合は下表の評価とする。

分数	評価
2 / 2	b
3 / 3	
4 / 4	
0 / 0	c
1 / 1	
1 / 2	
0 / 1	d
0 / 2	
1 / 3	

- a 出来ばえが特に良い。
- b 出来ばえは良い方である。
- c 出来ばえは普通である。
- d 出来ばえがあまり良くない。

評定

(緊急工事等の迅速性を問うものについては通常工事の評価より1ランク上げる。(例 . cならbにする))

出来ばえ評価参考項目

項 目	良	普通・無	不良
通リやカーブ			
連続性			
施工面の肌			
平坦性			
均一性			
ヘアークラックや欠損			
打ち継ぎ目			
すりつけや端部処理			
傷や錆			
補修痕			
目地			
雨水処理			
均一勾配			
突起物・露出物			
むら			
凹凸			
接合			
清掃			
きめ細やか			
調和			
使用者配慮			
色むら			
美観			

などを総合的に評価して判断すること。
印は主に建築関連

良 / (良 + 不良) = %

- 100% . . . a
- 70 ~ 100% . . . b
- 30 ~ 70% . . . c
- 30%未満 . . . d

採点項目表（完成・一部完成）検査員等

起工番号

号

該当項目の に数字「1」を入力（記入）する。
（*印をつけた項目は主に現場検査時に確認できるもの）

2 施工状況

・ 施工管理

[検査員]

不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	着手届・工程表及び技術者届の技術者証明が提出されており確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	下請届が提出されている。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	該当工種の段階確認が実施されている。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鮮明でよく整理された工事写真が提出されている。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	建設廃棄物の適正処理が写真やマニフェストで十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 現場代理人及び主任（監理）技術者が検査中に腕章を着用している。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 現場監督及び立会作業員が全員ヘルメットを着用している。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 水準点（ベンチマーク）を設置しており管理写真がある。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 検査時に測定人員・測定器具・検査足場等の準備が十分なされている。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 道路等危険箇所の検査時にガードマンを配置し安全対策を行っている。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 現場監督はじめ測定人員がきびきびと無駄なく対応し受検姿勢がよい。

YES/(YES+NO)= 100.0 % 判定 a 11 / 11

- 1 該当項目が90%以上・・・ a
- 該当項目が80～90%未満・・・ b
- 該当項目が65～80%未満・・・ c
- 該当項目が65%未満・・・ d
- * 主任（監理）技術者がよく現場を把握していない。・・・ d
- * 下請契約報告書と実態が一致していない。・・・ d
- * 検査時に主任技術者が不在であった。・・・ d
- * 検査時に現場代理人もしくは請負者（乙）が不在であった。・・・ d
- * 検査に対する受験態度が悪い。・・・ e
- * 検査時に現場代理人もしくは請負者（乙）と主任技術者が共に不在であった。・・・ e または「再検査」

3 出来形品質及び出来ばえ

[検査員]

不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	出来形管理表（管理図含む）が適切にまとめられており、充実している。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	出来形管理表において重要部や主要部の測定箇所等の不備不足がない。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	重要部や主要部の出来形管理写真に不備不足がなく十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不可視部の出来形管理写真に不備不足がなく十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	構造物の立ち上り高が取り上げ寸法（墨上げ）写真等で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各工程ごとの全景写真を撮影し添付している。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	業者作成の精度のよい出来形展開図が作成されており出来形確認がしやすい。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 現場において測点No等が表示してあり、延長等の出来形測定がしやすい。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 現場において測定線（ベンチマーク等）が入れてあり、展開図の出来形測定がしやすい。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 出来形管理表の記載数値と現場実測数値が合致しており、よく測定管理している。 (応急仮工事等の緊急工事の場合は精度の高い出来形管理は困難なので上記の各判定については配慮してよい。)

YES/(YES+NO)= 100.0 % 判定 a 9 / 9

- 1 該当項目が90%以上・・・ a
- 該当項目が80～90%未満・・・ b
- 該当項目が65～80%未満・・・ c
- 該当項目が65%未満・・・ d
- 重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・ d
- * 出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・ d
- * 手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・ d
- * 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。
・・・ d (手直し指示書)
- * 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。
・・・ e (手直し指示書 + 再検査)



共通

不要 YES NO

		1
	1	
	1	

品質や性能確保のための管理資料が充実しており、内容が確認できる。
指定機関の各種試験成績証がもれなくある。
* 遮水すべきところでの漏水がない。



土工

不要 YES NO

		1
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	

施工状況が写真でよく確認できる。
床堀が良好であるのが確認できる。
不陸整正・基面整正の施工が良好であるのが確認できる。
敷均し締固めが適切に行われているのが確認できる。
掘削法面の土質状況が写真等でよく確認できる。
土羽等の丁張りのピッチ等適正に設置しているのが写真で確認できる。
段切りが必要な箇所については適切に実施しているのが確認できる。
必須の各種土質試験をもれなく行っている。
施工中や完了時に雨水等による崩壊防止のためにシートや仮排水等の対策を講じている。
* 土羽の施工が良好で仕上げが良い。
* 法面地盤に施工の不備等によるたるみやクラックがない。
* 計画土工線と著しい差がない。

(浚渫工は出来形のみ評価し、品質の評価はC評価とする。)



現場打コンクリート構造物

不要 YES NO

	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	

コンクリート打設が施工状況写真により適切に行われたことが確認できる。
コンクリート打設後の養生が適切に行われたことが確認できる。
鉄筋の加工・組立が適切に行われているのが確認できる。
スペーサー等により、鉄筋のかぶりの確保が写真で確認できる。
Pコン(木コン)が前面背面とも適正な材料が使用されており表面処理も適切である。
鉄筋の圧接がある場合、引っ張りや曲げ強度試験値が確認できる。
* 0.2mm以上のクラックがない。(0.2mm未満のクラックは出来ばえに反映させる。)
* 上記クラックがある場合、その補修を実施しているか、補修方法を発注者側と検討している。
* 業者の責と判断される進行性あるいは有害なクラックがない。(ある場合は補修や手直し必要)



石・ブロック積(張)

不要 YES NO

	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	

基礎コンクリート(基礎ブロック)が良質で適正に施工されているのが確認できる。
胴込・裏込コンクリートが適正に施工されているのが確認できる。
裏込コンクリートの厚さ等の寸法が十分確認できる。
裏込材が適正に施工されているのが確認できる。
裏込材の厚さ等の寸法が十分確認できる。
吸い出し防止シートの敷設が適正なのが写真等で確認できる。
水抜き管に吸い出し防止等を取り付けているのが写真等で確認できる。
* 指示した箇所のB試験が全て1回でOKである。(やり直し跡がない)
* ブロック(石)のかみ合わせや目地等の施工が良好である。
* ブロック(石)面の勾配がきちんと保たれている。
* 張ブロック(石)が基礎地盤に密着しているのが打音検査等で確認できる。



かご工

不要 YES NO

	1	
		1
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	
	1	

施工基面の施工が良好であるのが確認できる。
* 止め杭の施工が十分である。
* 中詰石の径が適正である。
* 中詰石の密度が十分である。(不純な物が混入していない。)
* 籠材が所定の規格を満足している。
* 中詰後の籠材そのものが変形していない。
* 鉄線や連結材等の突起や表面を危険のないように処理している。
* 吸出し防止シートの敷設が適正なのが、写真等で確認できる。(背面が砂質土等の場合)



張芝・筋芝工

不要 YES NO

* 使用材料が良質で仕上げも良好である。
* 目串や止金具の本数が十分で押さえがしっかりしている。



種子・客土・厚層基材・コンクリート・モルタル吹付工・現場吹付法枠工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法面清掃の実施が確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土壌の硬度試験やPH試験を実施し、施工に反映されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網やネット張が法面の凹凸に十分対応し、間隔が適切に確保されているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アンカーピンの施工本数やピッチが適正であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	金網やネット張で10cm以上の重ね幅が確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水抜き管の施工が良好であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	吹き付け材料の強度確認試験を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2層吹付けが必要な場合、厳正に実施しているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	法枠組立の施工が良好であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 吹付け厚さが均等であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* はく離やクラックがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* はく離やクラックがあった場合、補修を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 跳ね返り材料が適切に処理されている。

(プレキャスト法枠工は「石・ブロック積(張)」等の該当項目を組み合わせ適用する。)

コンクリート2次製品(側溝・擁壁・根固ブロック等、ただし橋桁は除く)
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	設置基面が良好であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基礎材や敷モルタル材が良質で施工が良好であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	均しコンクリートが良質で適正に施工しているのが写真で確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	製品設置後の埋め戻し前の状況が写真で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 製品どうしの接合や噛み合わせが適切である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 製品の設置に関して不必要な段差・ぶれ・折れがない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 目地や間詰材の施工が良好である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 製品自体に気泡・クラック・傷・欠損等がほとんどない。

基礎(杭)工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭に損傷及び補修痕がないのが確認できる。(十分な製品外観写真がある。)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭の打止め管理あるいは場所打ち杭の施工管理記録がよく整備されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭の水平度、鉛直度を厳密に測定しているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭溶接がある場合溶接に関して、定められた品質管理を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	場所打ち杭のコンクリート打設について、適度なトレミー管挿入で施工している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	場所打ち杭のコンクリート強度が十分であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動および安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度と比重が適切に管理されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	注入材料の圧力や量が施工記録により確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工位置(杭頭)の位置(座標)が許容範囲内であることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	杭頭処理が適切に施工されている。

深礎工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全性など適正な掘削状況であることが写真で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	土留材(ライナープレート等)が良質で適正に施工されているのが確認できる。

アンカー工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	アンカーの施工長さが確認できる十分な資料(写真)がある。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	必要な引張試験を実施している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	充填材の注入が適正に行われているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* アンカーキャップや止圧板等の施工が良好である。

地盤改良・安定処理工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良材が良質であるのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良の深さや範囲が施工状況写真や施工記録等で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良材の使用量が番号付き袋の投入写真で全量確認できる。(空袋管理のみは不十分)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良材の巻き出し厚の管理を十分行っているのが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	* 十分な改良効果があることが試験結果や目視で確認できる。

地中連続壁工
不要 YES NO

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	改良柱の深さや位置が施工状況写真や施工記録等で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	配合試験を実施し、強度確認資料がある。

補強土壁工・ジオテキスタイル工

不要 YES NO

敷均し締固めの状況が適正で施工幅等が写真等で十分確認できる。
補強材等の設置状況が適正で各段の長さや本数（枚数）等が写真等で十分確認できる。
* 壁面材が適正に施工されている。

構造物取壊工

不要 YES NO

各種取り壊しが丁寧に施工されているのが写真で確認できる。（舗装版破碎含む）
廃材の積み込み状況や処理場搬出などが適正に実施されているのが写真で確認できる。

河川・海岸工

不要 YES NO

施工基面が平滑に仕上げられているのが写真等で確認できる。
捨石基礎の均し面が平坦に仕上げられているのが写真等で確認できる。
裏込材や胴込コンクリートの充填または締固が適切に実施されている。
遮水シートの適正な施工が確認できる。
木杭が適正に施工されているのが確認できる。
水制工の施工が適正であるのが確認できる。
* 土のう（大型含む）の施工（積み上げや止め杭等）が適正であるのが確認できる。
* 使用製品のかみ合わせや連結が適切で裏込材等の吸い出しの恐れがない。
* 使用石材の形状や径が適切である。
（防波堤等の港湾用コンクリート構造物は「現場打コンクリート構造物」に準ずる。）
（石積・ブロック積（張）は「石・ブロック積（張）」に準ずる。）

消波ブロック製作工

不要 YES NO

製品に気泡等の跡があまり目立たない。
製品にクラックがほとんどない。
製品に傷や欠損がほとんどない。

応急仮工事

（応急仮工事は施工の迅速性と安全性が特に重要であり、工種も多岐にわたるので品質項目については各工種から該当項目を抽出し対応するか「その他」の追加項目等を利用するものとするが、品質については最低限のものが確保されていればYES評価するものとする。）

本設矢板工

不要 YES NO

使用材料の規格（厚・幅・長等）が写真等で十分確認できる。
* 矢板の傾きや通りのぶれがないのが確認できる。
* 矢板の天端高のばらつきがない。
* 矢板の噛み合わせが良い。
* アンカー、控え索が適切に施工されている。
（コンクリート矢板は「コンクリート2次製品」の該当項目を組み合わせで適用する。）

仮締切工・仮設矢板工・仮設防護柵工

不要 YES NO

各種仮設材の材料検収がもれなく行われている。
各段の切梁・腹起設置後に床堀が行われたのが段階確認写真等で確認できる。
* 矢板打設後の矢板の傾きや通りのぶれがない。
* 矢板打設後の矢板の天端高のばらつきがない。（転石や岩がある場合は除外）
* 矢板のたわみがない。
* 矢板の噛み合わせがよい。
* 切梁・腹起等が設計図に忠実でかつ適正に施工している。
* H鋼杭の立て込みが良好である。
* 横矢板の噛み合わせ等の施工が良好である。

仮橋工

不要 YES NO

使用材料（鋼材等）の規格（厚・幅・長等）が写真等で十分確認できる。
施工状況が適正なのが写真等で十分確認できる。
リース材等の日頃の管理を実施していることが写真や日報で確認できる。
* 杭・桁・覆工板等の設置が設計図に忠実でかつ適切に施工している。
* 杭・桁・覆工板等の材料が良質である。

水門・井堰・排水機場

不要 YES NO

--	--	--

* 漏水等がなく、水密性が十分なのが確認できる。
（その他「現場打コンクリート構造物」「鋼構造物」「塗装工」「機械電気設備」等の該当項目に準ずる。）

鋼構造物（鋼橋含む）

不要 YES NO

鋼材の員数照合がミルシート等で確認されている。
 溶接作業員の資格証を確認できる。
 ボルトの締め付け確認が適正に実施され、その記録が管理されている。
 支承据付が適切に実施されているのが確認できる。
 * 溶接に不十分な箇所がなく適正に行われている。
 * ボルトの締め付けが適正である。
 * 使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で十分確認できる。

塗装工

不要 YES NO

塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。
 ケレンが入念に実施されていることが確認できる。
 施工時の天候、気温、湿度等の条件が整理・記録されている。
 塗料の施工前攪拌を実施し、よい状態で施工したことが確認できる。
 塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で確実に確認できる。
 塗膜厚の確認を実施し、記録されている。
 * 塗膜に付着物が無い。
 * 膜厚測定器により塗膜厚を確認できた。（膜厚不足は手直し指示）

砂防・地すべり

不要 YES NO

地山との取り合わせが適切に行われている。
 各ブロックの施工基面（打ち継ぎ面）が適正に仕上げられているのが確認できる。
 ひずみ計の精度試験を実施している。
 ライナープレートの適切な施工を実施しているのが確認できる。
 集排水ボーリングの方向や角度に配慮し、施工を実施している。
 集排水パイプの施工が適正で挿入長等が十分確認できる。
 （砂防堰堤等は「現場打コンクリート構造物」に準ずる。）
 （鋼製のスリットダム等は「鋼構造物」に準ずる。）

公園施設

不要 YES NO

* 遊技施設の設置箇所及び周辺は、水はけよく整地され転圧も十分である。
 * 遊技施設組立のボルト、ナット、ロープ等は安全性が十分確保されている。

植栽工

不要 YES NO

土壌試験（PH）を実施している。
 活着管理が適切に行われている。
 肥料の分散、均一性を考慮し施肥されているのが確認できる。
 障害物や有害物等の除去を実施しているのが確認できる。
 * 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切に行われているのが確認できる。
 * 余剰枝の剪定、整形等必要な手入れが行われているのが確認できる。
 * 高木植栽において支柱が堅固に取り付けられている。

機械・電気設備（堰、水門、ポンプ等）

不要 YES NO

品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分実施されていることが確認できる。
 材料・部品・機器の品質や性能がミルシート、カタログおよび品質証明書等（現場照合を含む）で確認できる。
 溶接および溶接管理が適切に実施されているのが確認できる。
 塗装および塗装管理が適切に実施されているのが確認できる。
 * 材料・部品・機器そのものが良質強固であるのが判断できる。
 * 操作制御等の実動の機能確認ができる。
 * 製品の機能、性能に問題がない。
 * 操作説明板等が準備されている。
 * 実動のための安全面での配慮がなされている。

下水道工事
不要 YES NO

掘削時の土留め方法や推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響がみられない。
 人孔において、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されている。
 * インパートは形状、勾配、表面仕上げ等が適正で漏水がない。
 * 埋戻において、締固めが適切な方法で施工されており、沈下が見られない。
 * 管渠（管布設・矩形渠布設、推進）工において、目立った屈曲や沈下がない。
 * 管渠、人孔においてシール材・滑材・接着剤等のはみ出し等がない。
 * 管渠、人孔において漏水箇所がない。
 * 管渠継ぎ手部及び人孔連結部の目地仕上げが良好である。
 * 管渠に影響を与えるクラックや変形がない。（ある場合は、補修や手直しが必要）
 * 人孔の足掛金物の位置、方向が適切であり、鉄蓋設置においてガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。
 * 人孔蓋の天端は周辺地盤になじんでおり、周辺の復旧仕上がりが良い。
 * 推進管の裏込め材料が十分充填されている。

下水道工事（シールド工のみ）
不要 YES NO

コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行なっている。
 日々計測管理を行なっており、それに基づいた施工が行なわれていることが確認できる。
 * 2次覆工において漏水がない。
 * 裏込め注入を適切に行なっている。
 * クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生クラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行なっている。
 * セグメントの継手が適切に施工され漏水がない。
 その他（)

薬液注入工
不要 YES NO

使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書が提出されている。
 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で監督員の立会を行なっている。
 削孔深さ、注入長の確認が出来る。（監督員立会）
 注入量、圧力等が確認できるよう適正な施工管理を行なっている。
 注入効果の確認を行なっている。
 観測孔及び水質等の管理が適切に行なわれている。

機械・電気設備工事(下水道施設のみ)
不要 YES NO

機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
 製造者による試験が的確に行なわれ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
 施工完了時の試験及び記録が適切である。
 品質計画による品質管理記録が整備されている。
 不可視部分の写真記録が適切である。
 * 機能の適切性が確認できる。試運転等の記録が整備されている。
 * 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。

電気通信
不要 YES NO

仕様書等で定められた品質管理が実施されているのが確認できる。
 単体品の必要な証明書類が整備されている。
 * 単体品（材料・部品組立後）が設計図書等と整合している。
 * 設備が設計図書等と整合しており、機能を満足している。
 * 設備の運転性能がよく、所定の能力が確認できる。

ダム

不要 YES NO

--	--	--

ダム毎に定められた特記仕様書で規定されている品質管理が実施されている。
 コンクリート打設時の管理図・結果表により、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
 (コンクリート式ダム)

--	--	--

盛立工施工時の管理図・結果表により、単位体積重量・含水比・透水計数等が確認できる。
 (フィルタイプダム)

--	--	--

日々の計測管理を実施していることが確認できる。
 (その他、ダム関連付属構造物は各工種の該当項目による)

トンネル

不要 YES NO

--	--	--

使用コンクリートの規格や品質(強度・最大骨材・スランプ値・空気量・塩化物量・アルカリ骨材等)が資料により十分確認できる。

--	--	--

コンクリート打設時の供試体を採取しているのが確認できる。

--	--	--

日々の計測管理を実施していることが確認できる。

--	--	--

金網の重ね幅が15cm以上あることが確認できる。

--	--	--

コンクリート吹付けは浮石等を除き、15cm以下の厚さで地山密着が十分確認できる。

--	--	--

ロックボルト挿入前にくり粉除去等の清掃状況が確認できる。

--	--	--

*吹付けコンクリートの打継ぎ部の処理が適切に施工されていることが確認できる。

--	--	--

*逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの継ぎ目が同一線上にないことが確認できる。

建築工事(新築・改築)

不要 YES NO

--	--	--

品質管理の方法が明確で品質確保に創意工夫がある。
 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。

--	--	--

材料の品質証明が適切である。

--	--	--

請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。

--	--	--

施工の品質・形状が適切で良好な施工である。

--	--	--

不可視部分の写真記録が適切である。

各種製品設置工

不要 YES NO

--	--	--

施工状況が適正であることが写真等で十分確認できる。

--	--	--

*製品が設計図面と合致しており良質である。

--	--	--

*製品が製品仕様書等で定められたものと合致しており良質である。

--	--	--

*設置状況が適正である。

その他の品質項目(追加項目や特筆項目など)

不要 YES NO

--	--	--

記入 _____

--	--	--

記入 _____

--	--	--

記入 _____

YES/(YES+NO)= 22 / 24 = **91.7** % 判定 **a**

- 1** 上記該当項目が90%以上・・・a
- 0** 上記該当項目が特例分数(2/2),(3/3),(4/4)あるいは80~90%・・・b
- 上記該当項目が特例分数(0/0),(1/1),(1/2)あるいは65~80%・・・c
- 上記該当項目が特例分数(0/1),(0/2),(1/3)あるいは50~65%・・・d
- 品質基準値を満足しておらず軽微な手直しを指示した。(手直し指示書)・・・d
- 上記該当項目が50%未満・・・e
- 品質基準値を満足しておらず重大な手直しを指示した。(手直し指示書+再検査)・・・e

チェック項目が少数の場合の特例
 品質評価においてYES/(YES+NO)が次の分数の場合は下表の評価とする。

分数	評価
2 / 2	b
3 / 3	
4 / 4	
0 / 0	c
1 / 1	
1 / 2	
0 / 1	d
0 / 2	
1 / 3	

- a 出来ばえが特に良い。
- b 出来ばえは良い方である。
- c 出来ばえは普通である。
- d 出来ばえがあまり良くない。

評定

(緊急工事等の迅速性を問うものについては通常工事の評価より1ランク上げる。(例 . cならbにする))

出来ばえ評価参考項目

項 目	良	普通・無	不良
通りやカーブ	1		
連続性		1	
施工面の肌			1
平坦性		1	
均一性	1		
ヘアークラックや欠損		1	
打ち継ぎ目			1
すりつけや端部処理			
傷や錆			
補修痕			
目地			
雨水処理			
均一勾配			
突起物・露出物			
むら			
凹凸			
接合			
清掃			
きめ細やか			
調和			
使用者配慮			
色むら			
美観			

などを総合的に評価して判断すること。
印は主に建築関連

良 / (良 + 不良) = %

- 100% . . . a
- 70 ~ 100% . . . b
- 30 ~ 70% . . . c
- 30%未満 . . . d

担	当	係長	課長	部長	副市長	市長

様式第2号

工事成績評定表〔中間・出来形〕

起工番号	号
工事名	工事
請負者名	

評定者押印		検査員	検査員	検査員	検査員		
<table border="1"> <tr> <td>検査項目</td> <td></td> </tr> </table>		検査項目					
検査項目							
項目	細別	判定	判定	判定	判定		
1.施工体制	.施工体制一般						
	.配置技術者						
2.施工状況	.施工管理						
	.工程管理						
	.安全対策						
	.対外関係						
3.出来形及び出来栄	.出来形						
	.品質						
	.出来栄						
4.高度技術	.高度技術力						
5.創意工夫	.創意工夫						
6.社会性等	.地域への貢献等						
8.法令遵守等							

各評定者は太枠の中に a ~ e の判定結果を記入し押印すること。

評定者	所見記入欄	印
1回目 検査員		
2回目 検査員		
3回目 検査員		
4回目 検査員		

工事既済部分〔中間〕検査採点副表

部局名		課名					工事名					起工番号													
請負者名		#REF!					工期																		
考 査 項 目		検査員（既済・中間）1回					検査員（既済・中間）2回					検査員（既済・中間）3回					検査員（既済・中間）4回					平均 2			
		年		月		日	年		月		日	年		月		日	年		月		日				
		氏名					氏名					氏名					氏名		#REF!						
項 目	細 別	a	b	c	d	e	細別点	a	b	c	d	e	細別点	a	b	c	d	e	細別点	a	b	c	d	e	細別点
1.施工体制	.施工体制一般																								
	.配置技術者																								
2.施工状況	.施工管理	+5	+2.5	0	-7.5	-15		+5	+2.5	0	-7.5	-15		+5	+2.5	0	-7.5	-15		+5	+2.5	0	-7.5	-15	
	.工程管理																								
	.安全対策																								
	.対外関係																								
3.出来形及び 出来栄え	.出来形	+10	+5.0	0	-10	-20		+10	+5.0	0	-10	-20		+10	+5.0	0	-10	-20		+10	+5.0	0	-10	-20	
	.品質	+15	+7.5	0	-12.5	-25		+15	+7.5	0	-12.5	-25		+15	+7.5	0	-12.5	-25		+15	+7.5	0	-12.5	-25	
	.出来栄え	+5	+2.5	0	-5			+5	+2.5	0	-5			+5	+2.5	0	-5			+5	+2.5	0	-5		
4.高度技術	.高度技術力																								
5.創意工夫	.創意工夫																								
6.社会性等	.地域への貢献等																								
加減点合計(2+3)							点						点						点						点
評定点(65±加減点合計) 1			-1				点		-2				点		-3				点		-4				点

- 各評定点（-1～-4）は少数第1位まで記入する。
- 平均値は少数2位まで記入する。ただし、工事成績採点表（別表その1）の中間検査評定欄に記入する時少数2位を四捨五入し少数1位までとする
- 各考查項目ごとの採点は、別紙4の「採点項目表（中間検査）」により行う。

工事成績採点表〔完成・一部完成〕

部 局 名		課 名										検 査 年 月 日					平成 年 月 日															
工 事 名										施 工 場 所																						
請 負 者 名																																
伺 番 号					工 期					平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日					契 約 金 額 (最 終)					円												
考 査 項 目		監 督 員					主任監督員					総括監督員					検査員(既済・中間) 7					検 査 員 (完 成)										
		氏 名					氏 名					氏 名					氏 名		中間検査副表に記入			氏 名										
項 目	細 別	a	b	c	d	e	細別点	a	b	c	d	e	細別点	a	b	c	d	e	細別点	a	b	c	d	e	細別点	a	b	c	d	e	細別点	
1.施工体制	.施工体制一般		+1.5	0	-5	-10																										
	.配置技術者	+3	+1.5	0	-5	-10																										
2.施工状況	.施工管理		+1.5	0	-5	-10															+5	+2.5	0	-7.5	-15		+5	+2.5	0	-7.5	-15	
	.工程管理							+1	+0.5	0	-5	-10		+10	+5	0	-7.5	-15														
	.安全対策							+2	+1	0	-5	-10		+15	+7.5	0	-7.5	-15														
	.対外関係							+2	+1	0	-2.5	-5																				
3.出来形及び出来栄	.出来形	+2	+1	0	-2.5	-5														+10	+5	0	-10	-20		+10	+5	0	-10	-20		
	.品質	+2	+1	0	-2.5	-5														+15	+7.5	0	-12.5	-25		+15	+7.5	0	-12.5	-25		
	.出来栄																			+5	+2.5	0	-5			+5	+2.5	0	-5			
4.高度技術	.高度技術力 2																															
5.創意工夫	.創意工夫 2																															
6.社会性等	.地域への貢献等 3																			+10	+5	0										
加減点合計(1+2+3+4+5+6)							点					点					点					点										
評定点(65±加減点合計) 1		(監督員+係長)					点					点					点					点										
7.評 定 合 計		0 点					・既済(中間)検査があった場合:(点 × 0.4 + 点 × 0.2 + 点 × 0.2 + 点 × 0.2): 点 ・既済(中間)検査がなかった場合:(点 × 0.4 + 点 × 0.2 + 点 × 0.4) = 点																									
8.法 令 遵 守 等 5												点																				
9.評 定 点 合 計 6		点					・7.評定合計(0 点) - 8.法令遵守等(点) = 点																									

- 1 ~ 3の評定(65点±加減点合計) + 4, 5, 6の評定(加点合計) - 8の評定(減点) = 評定点 各評定点(~)は少数第1位まで記入する。
- 高度技術および創意工夫の評定は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため評定は加点評価のみとする。
なお、評価にあたっては、総括監督員との合議をもって行うものとする。
- 社会性等の評価では地域への貢献度等の観点から加点評価のみとする。また、法令遵守等は減点評価のみとする。
- 各検査項目ごとの採点は、監督員、係長、課長それぞれに対応した、別紙2の「採点項目表(完成・一部完成)」により行い、検査員の評価に先立ち記入する。
- 法令遵守の評価は、担当課長(室長)が行う。
- 評定合計は四捨五入により整数とする。
- 既済部分(中間)検査が行われた場合は、別表(その2)の「既済(中間)検査採点副表」にそれぞれの評定点を記入し、その平均点を記入する。

担	当	係長	課長	部長	副市長	市長

様式第1号

工事成績評定表[完成・一部完成]

起工番号 _____ 号 _____

工事名 _____ 工事 _____

請負者名 _____ **総合評定** 点

評定者押印 審査項目		監督員	主任監督員	総括監督員	検査員
		判定	判定	判定	判定
1.施工体制	.施工体制一般				
	.配置技術者				
2.施工状況	.施工管理				
	.工程管理				
	.安全対策				
	.对外関係				
3.出来形及び 出来栄	.出来形				
	.品質				
	.出来栄				
4.高度技術	.高度技術力				
5.創意工夫	.創意工夫				
6.社会性等	.地域への貢献等				
8.法令遵守等					

各評定者は太枠の中に判定結果を記入（手書きがよい）し、押印すること。

高度技術、創意工夫、法令遵守等の判定欄は数値を、その他の欄はa～eを記入すること。
係長が不在の場合は代わりに監督員が判定する。また、課長が不在の場合は係長が判定する。
監督員が判定困難な項目がある場合は係長が適宜に助言すること。

評定者	所見記入欄
監督員	
主任監督員	
総括監督員	
検査員	

細目別評定点採点表

所属名 _____

工 事 名	工 事		請 負 者 名		起 工 番 号	# REF!			
	項 目	細 別	監 督 員	主任監督員		総括監督員	検査員(中間)	検査員(完成)	細目別評定点
1.施工体制	.施工体制一般	× 0.4+2.6 =						0.0 / 3.2点	%
	.配置技術者	× 0.4+2.6 =						0.0 / 3.8点	%
2.施工状況	.施工管理	× 0.4+2.6 =			× 0.4+6.5 =	× 0.4+6.5 =		0.0 / 11.7点	%
	.工程管理		× 0.4+2.6 =	× 0.2+4.3 =				0.0 / 9.3点	%
	.安全対策		× 0.4+2.6 =	× 0.2+4.3 =				0.0 / 10.7点	%
	.対外関係		× 0.4+2.6 = #VALUE!					0.0 / 3.4点	%
3.出来形及び 出来栄え	.出来形	× 0.4+2.6 =			× 0.4+6.5 =	× 0.4+6.5 =		0.0 / 13.9点	%
	.品質	× 0.4+2.6 =			× 0.4+6.5 =	× 0.4+6.5 =		0.0 / 15.9点	%
	.出来栄え				× 0.4+6.5 =	× 0.4+6.5 =		0.0 / 8.5点	%
4.高度技術	.高度技術力		× 0.4+2.6 =					0.0 / 7.8点	%
5.創意工夫	.創意工夫		× 0.4+2.6 =					0.0 / 5.4点	%
6.社会性等	.地域への貢献等			× 0.2+4.4 =				0.0 / 6.4点	%
8.法令遵守等				× (1.0) =				0.0	%
							評定点合計	100.0 / 100点	

中間検査があった場合は (+ + + / 2 + / 2) = 細目別評定点
 中間検査がなかった場合は (+ + +) = 細目別評定点
 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

項目別評定表

起工番号 #REF!	工事名	
	細別	評定点/満点
1.施工体制	.施工体制一般	0.0 /3.2点
	.配置技術者	0.0 /3.8点
2.施工状況	.施工管理	0.0 /11.7点
	.工程管理	0.0 /9.3点
	.安全対策	0.0 /10.7点
	.対外関係	0.0 /3.4点
3.出来形及び 出来栄え	.出来形	0.0 /13.9点
	.品質	0.0 /15.9点
	.出来栄え	/8.5点
4.高度技術（加点のみ）	.高度技術力	0.0 /7.8点
5.創意工夫（加点のみ）	.創意工夫	0.0 /5.4点
6.社会性等（加点のみ）	.地域への貢献等	0.0 /6.4点
7.法令遵守等（減点のみ）		0.0
評定点合計		0 /100点